

## 令和4(2022)年度 後期授業評価アンケート分析報告書

### 1. 概要

2022年度後期授業評価アンケートについて前年度の状況と比較した上で、講義形式(①全科目、②対面、③オンデマンド、④ゼミ+卒業論文)ごとに相関行列を用いて分析を行った。

#### ● 分析結果

- ・ 回答率は、回答収集方法の変更に伴い昨年度後期と比較すると大きく下がっており、同じ解答収集方法の前期と比較しても若干の低下がみられる。
- ・ 興味関心、難易度、満足度に大きな変化はないが、学習時間は昨年度後期と比較すると約12分(20%)増加している。
- ・ 満足度(目的変数)との相関は、高い順に「興味関心(.70)」「資料の分かりやすさ(.65)」「指示の適切性(.64)」となっている。
- ・ 上記の満足度との相関は、対面授業およびオンライン授業別でも同様の傾向であるが、ゼミに関しては、「資料の分かりやすさ」よりも「指示の適切性」の方が満足度との相関が強い。

#### ● 考察

- ・ 学生全体の傾向をとらえるという点では、回答率の向上が望まれるが、まずは教員からの呼びかけをお願いしたい。
- ・ 学習時間が増加したのは、in-Campusの課題・掲示板・アンケートなどの諸機能を教員が適切に活用していることが一因では無いかと考えられ、FDを通じてノウハウの共有や新たな獲得が重要と考えられる。
- ・ 満足度との相関が強い項目のうち、「資料の分かりやすさ」「指示の適切性」に関しては、教員の影響が大きいので、本報告を講義時の参考にしてもらいたい。

### 2. 実施状況

- 2022年度前期授業評価アンケートは次の方法で実施された。
  - ・ 令和4年12月12日(月)～12月23日(金)
  - ・ 後期・通年開講授業科目(集中講義を含む)について実施
  - ・ in Campus ポータルのアンケート機能を使って実施した。

### 3. サンプルの状況

- 2022年後期開講科目数(秋学期開講科目+通年科目)は345である。そのうち、履修生がゼロであるため科目を除外した結果、アンケートが実施できた科目は321である。

- これらの科目より最終的に回収した回答数は5,186である。

#### 4. 主要項目の平均値と中央値

表1 主要項目の推移<sup>1</sup>

年度	履修者数		回答率		興味関心		難易度		満足度		学習時間	
	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値	平均	中央値
2021 後	37.21	13.0	0.758	0.786	4.170	4.160	3.780	3.790	4.190	4.180	48.06	43.88
2022 前	37.60	15.0	0.603	0.579	4.138	4.116	3.631	3.656	4.141	4.143	59.53	53.33
2022 後	37.07	15.00	0.560	0.545	4.157	4.167	3.731	3.727	4.177	4.185	60.68	56.46

#### 5. 授業満足度との相関性

授業満足度と各項目との相関について、①全科目、②対面、③オンデマンド、④ゼミ+卒業論文について相関行列を用いて分析した。その結果は下記の図表2から4のとおりである。

- 全科目分析結果

表2 全科目の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2	興味関心	1.000	0.123	0.570	0.534	0.410	0.603	-0.003	0.193	0.169	<b>0.704</b>
Q3	難易度		1.000	0.162	0.172	0.176	0.078	0.291	0.254	0.230	0.049
Q4	指示の適切性			1.000	0.647	0.542	0.613	0.006	0.116	0.147	<b>0.641</b>
Q5	双方向性				1.000	0.470	0.534	0.022	0.159	0.177	0.569
Q6	in campus の活用頻度					1.000	0.542	0.069	0.139	0.195	0.439
Q7	資料のわかりやすさ						1.000	-0.015	0.144	0.147	<b>0.651</b>
Q8	課題分量							1.000	0.243	0.311	-0.095
Q9	予習・復習								1.000	0.723	0.136
Q10	課題時間									1.000	0.118
Q11	満足度										1.000

- 対面授業科目の分析結果

<sup>1</sup> 学習時間は8段階に分けたもののうち8(180分以上)は180,1(0分)は0とし、それ以外は真ん中の値(例えば0分以上30分未満は15分)として計算したものをを用いている。また学習時間はQ8(あなたは、この授業1回あたり、予習・復習にどのくらい時間をとりましたか(180分以上~0分)<30分刻み>)の値を用いている。

表 3 対面授業の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2	興味関心	1.000	0.084	0.570	0.564	0.406	0.603	-0.005	0.193	0.163	0.710
Q3	難易度		1.000	0.144	0.134	0.207	0.069	0.286	0.232	0.233	0.019
Q4	指示の適切性			1.000	0.662	0.547	0.610	0.015	0.105	0.133	0.623
Q5	双方向性				1.000	0.504	0.563	0.027	0.146	0.131	0.584
Q6	in campus の活用頻度					1.000	0.538	0.106	0.182	0.229	0.425
Q7	資料のわかりやすさ						1.000	0.000	0.156	0.139	0.649
Q8	課題分量							1.000	0.245	0.322	-0.095
Q9	予習・復習								1.000	0.755	0.126
Q10	課題時間									1.000	0.091
Q11	満足度										1.000

● オンデマンド科目の分析結果

表 4 オンデマンド科目の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2	興味関心	1.000	0.298	0.597	0.501	0.504	0.625	0.053	0.197	0.182	0.709
Q3	難易度		1.000	0.245	0.292	0.190	0.145	0.306	0.312	0.282	0.185
Q4	指示の適切性			1.000	0.590	0.659	0.663	0.015	0.163	0.192	0.675
Q5	双方向性				1.000	0.518	0.510	0.007	0.221	0.246	0.511
Q6	in campus の活用頻度					1.000	0.635	0.020	0.105	0.171	0.601
Q7	資料のわかりやすさ						1.000	-0.001	0.127	0.168	0.688
Q8	課題分量							1.000	0.226	0.263	-0.076
Q9	予習・復習								1.000	0.755	0.184
Q10	課題時間									1.000	0.171
Q11	満足度										1.000

● ゼミ・卒業論文科目の分析結果

表 5 ゼミ + 卒業論文の相関行列

		Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
Q2	興味関心	1.000	0.123	0.511	0.471	0.292	0.543	-0.115	0.163	0.090	0.638
Q3	難易度		1.000	0.123	0.146	0.050	0.051	0.312	0.301	0.224	0.017
Q4	指示の適切性			1.000	0.669	0.406	0.549	-0.104	0.076	0.052	0.662
Q5	双方向性				1.000	0.405	0.506	-0.067	0.100	0.129	0.594
Q6	in campus の活用頻度					1.000	0.435	-0.105	-0.044	-0.017	0.317
Q7	資料のわかりやすさ						1.000	-0.156	0.084	0.079	0.595
Q8	課題分量							1.000	0.237	0.287	-0.182
Q9	予習・復習								1.000	0.620	0.091
Q10	課題時間									1.000	0.052
Q11	満足度										1.000

以上